

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成21年12月24日(2009.12.24)

【公開番号】特開2008-239766(P2008-239766A)

【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)

【年通号数】公開・登録公報2008-040

【出願番号】特願2007-81367(P2007-81367)

【国際特許分類】

C 0 9 K 3/10 (2006.01)

C 0 8 L 21/00 (2006.01)

C 0 8 K 7/02 (2006.01)

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

F 1 6 J 15/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 3/10

C 0 9 K 3/10 C

C 0 9 K 3/10 Z

C 0 9 K 3/10 M

C 0 9 K 3/10 Q

C 0 9 K 3/10 N

C 0 8 L 21/00

C 0 8 K 7/02

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/00

F 1 6 J 15/10 X

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月9日(2009.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) アスベストを除く補強繊維、(b) ゴム、(c) ゴム薬品、並びに(d) 廃糖蜜、オリゴ糖、リグニン類及びイミド樹脂から選ばれる1種又は2種以上の成分を含有する組成物を加熱圧縮して得られるジョイントシート。

【請求項2】

前記組成物が、さらに、シリカ、アルミナ及びフッ素樹脂から選ばれる1種又は2種以上を含有するものである請求項1記載のジョイントシート。

【請求項3】

(d) 廃糖蜜、オリゴ糖、リグニン類及びイミド樹脂から選ばれる1種又は2種以上の成分の配合量が、前記組成物中に5～30重量%である請求項1又は2記載のジョイントシート。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 6 】

これらの (d) 成分のうち、ジョイントシートへの耐熱性付与の点から、廃糖蜜、リグニン及び / 又はイミド樹脂が好ましく、特に廃糖蜜、リグニン及び / 又はビスアリルナジイミドが好ましい。これらの (d) 成分は 1 種でも 2 種以上を組み合わせ使用してもよい

。